臨	床	調	杳	個	人	票
ᄣᄱ	$\nu \sim$	H/HJ	ш.	1154	/ \	ᅏ

	新規	更新
_	–	

314 左肺動脈右肺動脈起始症

■ 患者情報

	保険者番号		被保険者記号		
保険情報	被保険者番号		被保険者 個人単位枝番		
	資格取得 年月日	西暦 年	- 月	Image: section of the content of the con	*以降、数字は 右詰めで記入
氏名	セイ		メイ		
八石	姓		名		
以前の登録氏名	セイ		メイ		
以前 少豆	姓		名		
	郵便番号				
	都道府県				
住所	市区町村				
	丁目番地等				
生年月日	西暦	年月月	Image: section of the content of the		
性別	□ 男性	□ 女性			
111 24-116	都道府県				
出生地	市区町村				

■ 基本情報

	□ 1.あり □ 2.なし □ 3.不明
	発症者続柄
	□ 1.父 □ 2.母 □ 3.子 □ 4.同胞(男性)
家族歴	□ 5. 同胞(女性) □ 6. 祖父(父方) □ 7. 祖母(父方)
	□ 8.祖父(母方) □ 9.祖母(母方) □ 10.いとこ
	□ 11. その他 *11 を選択の場合、以下に記入
	続柄
発症時期	西暦
社会保障	
介護認定	□ 1. 要介護 □ 2. 要支援 □ 3. なし
要介護度	1 2 3 4 5
生活状況	
移動の程度	□ 1.歩き回るのに問題はない □ 2.いくらか問題がある
	□ 3. 寝たきりである
身の回りの管理	□ 1. 洗面や着替えに問題はない □ 2. いくらか問題がある
7000000	□ 3. 自分でできない
> よい) の江利	□ 1. 問題はない□ 2. いくらか問題がある
ふだんの活動	□ 3.行うことができない
痛み/不快感	□ 1. ない □ 2. 中程度ある □ 3. ひどい
不安/ふさぎ込み	□ 1. 問題はない □ 2. 中程度
	□ 3. ひどく不安あるいはふさぎ込んでいる
手帳取得状況	
身体障害者手帳	□ 1.なし
27,7,7,7,7,7,7,7,7,7,7,7,7,7,7,7,7,7,7,	□ 2. あり (等級 □ 1級 □ 2級 □ 3級 □ 4級 □ 5級 □ 6級)
療育手帳	□ 1.なし □ 2.あり
精神障害者 保健福祉手帳	□ 1.なし
(障害者手帳)	□ 2. あり(等級 □ 1級 □ 2級 □ 3級)
人工呼吸器等装着者認	定基準に該当
□ 1. する	□ 2. しない □ 3. 不明

■ 診断基準に関する事項

<診断のカテゴリー>

Definite: A	Definite: A の1または A の2+ B を満たす					
A. 症状						
□ 1. あり a. 新生児・ 乳児期以降		□ 1.あり] 2.なし		□ 3. 不明
		□ 窒息 □ 吸気性		」 呼吸促拍		
による症状	による症状 b. 成 <i>/</i>		気管狭窄側	の、 [] 肺気腫	無気肺
				呼吸困難	推	アノーゼ
2. 食道圧迫に	伴う嚥下障害などの	消化器症状	□ 1.あり] 2.なし	□ 3. 不明
B. 検査所見						
画像検査(以	下のいずれかを満た	す)	□ 1. 該当	á [2. 非該当	3. 不明
□ 心エコ	ーにて左肺動脈の位	置異常および右	方肺動脈から	の分岐を码	É認する	
	時の肺動脈造影、MD 右肺動脈からの分岐		tection-row	CT)、MRI	などにより	、左肺動脈の位置異常
■ 重症度分類に関する事項 NYHA 分類						
□Ⅰ度	心疾患はあるが身体活動に制限はない。日常的な身体活動では疲労、動悸、呼吸困難、					
□II度	軽度から中等度の身体活動の制限がある。安静時または軽労作時には無症状。日常労作のうち、比較的強い労作(例えば、階段上昇、坂道歩行など)で疲労、動悸、呼吸困難、 失神あるいは狭心痛(胸痛)を生ずる					
□ III度	高度の身体活動の制 平地歩行など)で新					
□ IV度	心疾患のためいかなる身体活動も制限される。心不全症状や狭心痛(胸痛)が安静時にも 存在する。わずかな身体活動でこれらが増悪する					

症状の概要、	経過、	特記すべき事項など	*500 文字以内

■ その他の事項

ア. 症状

身体所見				
心聴診所見にて合併心奇形由来の 心音の異常および心雑音の聴取	1.該当	<u> </u>	非該当 [] 3. 不明
胸部聴診にて吸気時に笛声音(wheezes) を聴取	□ 1.該当	2. §	非該当 [] 3. 不明
チアノーゼまたは呼吸困難を伴う症例では 呼気・吸気両相に笛声音(wheezes)を聴取	□ 1.該当	2. §	非該当 [] 3. 不明
イ. 検査所見				
1. 胸部 X 線				
胸部 X 線正面像で気管下部は左側に偏位する	1. ā	亥当 🔲 :	2. 非該当	□ 3. 不明
気管・気管支の狭窄像が認められる	1.	亥当 🗌 :	2. 非該当	□ 3. 不明
右気管支を圧迫され、逆止弁(チェックバルブ となり右肺は肺気腫のため過膨張像を呈する	1.	亥当 🗌 :	2. 非該当	□ 3. 不明
右気管支が閉塞し停止弁 (ストップバルブ) となり無気肺像を呈する	1. į	亥当 🗌 🖰	2. 非該当	□ 3. 不明
2. 気管支鏡検査				
左肺動脈からの圧迫の部位および気管・気管支 の狭窄の程度を評価する気管支鏡検査	1.3	実施 🔲 :	2. 未実施	
3. 呼吸機能検査				
肺気腫合併では1秒率が70%以下	1.	亥当 🗌	2. 非該当	□ 3. 不明
無気肺合併では、%肺活量が80%以下の 混合性障害	1. į	亥当 🗌	2. 非該当	□ 3. 不明
ウ. 治療その他				
左肺動脈を右肺動脈からの起始部で切断し、				
気管・気管支の前面に移動させて、主肺動脈に吻 外科的治療	合する [] 1. 実施 [2. 未実施	□ 3. 不明
外科的治療による左肺動脈再建術後も呼吸器症状	でが、			
改善しない場合、気管・気管支の再建術やステン 留置して狭窄部位の拡大術を行う	下を [1. 実施] 2. 未実施	□ 3. 不明

■ 人工呼吸器に関する事項(使用者のみ記入)

使用の有無	□ 1. あり			
開始時期	西暦	手		
離脱の見込み	□ 1.あり	2.なし		
種類	□ 1. 気管切開孔を介した	上人工呼吸器		
	□ 2. 鼻マスク又は顔マス	くっを介した人工呼吸	器	
施行状況	□ 1. 間欠的施行	□ 2. 夜間に継続的	かに施行	
NETTACOL	□ 3. 一日中施行	□ 4. 現在は未施行	ŕ	
	食事	□ 自立	□ 部分介助 □ 全介助	
	+ k+ 7 1 2 1288 o 7454	□ 自立	□ 軽度介助	
	車椅子とベッド間の移動	□ 部分介助	□ 全介助	
	整容	□ 自立	□ 部分介助/不可能	
	トイレ動作	□ 自立	□ 部分介助 □ 全介助	
生活状況	入浴	□ 自立	□ 部分介助/不可能	
生值状况	歩行	□ 自立	□ 軽度介助	
	341	□ 部分介助	□ 全介助	
	階段昇降	□ 自立	□ 部分介助 □ 不能	
	着替え	□ 自立	□ 部分介助 □ 全介助	
	排便コントロール	□ 自立	□ 部分介助 □ 全介助	
	排尿コントロール	□ 自立	□ 部分介助 □ 全介助	

医療機関名	
指定医番号	
医療機関所在地	
電話番号	*ハイフンを除き、左詰めで記入
医師の氏名	
記載年月日	西暦 日 月 日
診断年月日	西暦

- ・病名診断に用いる臨床症状、検査所見等に関して、診断基準上に特段の規定がない場合には、いずれの時期のものを用いても 差し支えありません。(ただし、当該疾病の経過を示す臨床症状等であって、確認可能なものに限ります。)
- ・治療開始後における重症度分類については、適切な医学的管理の下で治療が行われている状態で、直近6か月間で最も悪い 状態を記載してください。
- ・診断基準、重症度分類については、 「指定難病に係る診断基準及び重症度分類等について」(平成 26 年 11 月 12 日健発 1112 第 1 号健康局長通知) を参照の上、 ご記入ください。
- ・診断年月日欄には、本臨床調査個人票に記載された内容を診断した日を記載してください。
- ・審査のため、検査結果等について別途提出をお願いすることがあります。

■ 行政記載欄

担当自治体		
受理日	西暦	年 月 日
公費負担者番号		
認定結果	□ 認定	一不認定
研究同意の有無	□ 有	□ 無
受給者番号		
有効期限	西暦	年 月 日
階層区分	上 生活保護	□ 低所得 I □ 低所得 I □ 一般所得 I
FB/B	□一般所得Ⅱ	□ 上位所得 □ その他
軽症者登録	□ 有	□ 無
	保険者番号	被保険者記号
保険情報	被保険者番号	被保険者 個人単位枝番
	資格取得 年月日	西暦 日 月 日